

研究課題名	日本の緊急事態におけるインシデント管理システム（IMS）に関する調査研究
研究期間	2026年4月15日～ 2028年 3月 31日
研究の対象	研究責任者が代表を務める厚生労働科学研究費補助金「健康危機管理センターと多分野連携体制の推進のための研究」において、厚生労働省への報告を目的として実施されたインシデント管理システム（IMS）に関するインタビューを受けられた方
研究の目的・方法	<p>研究目的：我が国の既存の健康危機管理体制に適合する公衆衛生緊急オペレーションセンター（HEOC: Health Emergency Operations Center）及び多分野連携の体制を構築するために、インシデント管理システム（IMS）を導入する利点、課題とその実現可能性等を明らかにすることで、今後の健康危機管理体制の枠組みに関して役立つ情報を得ることを目指しています。</p> <p>研究方法：研究責任者が代表を務める厚生労働科学研究費補助金健康安全確保総合研究分野 健康安全・危機管理対策総合研究「健康危機管理センターと多分野連携体制の推進のための研究」において収集されたインシデント管理システムに関するインタビューデータを学術的検討の観点から研究目的で二次的に研究利用するものです。今後の健康危機管理体制の枠組みに関して役立つ情報やその関連する要因を分析します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：インシデント管理システムに関するインタビューデータ</p> <p>試料：なし</p>
利用または提供を開始する予定日	2026年4月15日（本学における実施許可日）
個人情報の保護	得られた情報から特定の個人を識別できる記述を削除します。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	<p>研究代表者・本学の研究責任者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学 教授 久保達彦</p>
その他	特になし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特

	<p>定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。</p> <p>（研究の問い合わせ先）</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学</p> <p>担当者：久保達彦</p> <p>〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3</p> <p>電話番号：082-257-5167</p>
--	--